

2台ピアノによる コンチェルトの夕べ



ソリスト

アルバート・ロト

Klavier I : Albert Lotto

オーケストラパート・ピアニスト

和泉 真弓

Klavier (Orchestra) : Mayumi Izumi

ブラームス

ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 Op.83

Johannes Brahms : Klavierkonzert Nr.2 B Dur Op.83

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第4番 ト長調 Op.58

L.van Beethoven : Klavierkonzert Nr.4 G Dur Op.58

2025年

11月27日(木)

全席
自由

時間 18:20開演 (17:45開場)

料金 3,000円

加賀町ホール



新宿区市谷加賀町2-5-26
大江戸線牛込柳町駅より徒歩5分
(裏千家東京出張所の隣)

◀ 加賀町ホールHP



※お車でのご来場はご遠慮ください

2台ピアノによるコンチェルトの夕べ

Evening of Concertos with Two Pianos



Albert Lotto

アルバート・ロト

音楽評論家ロバート・シャーマンに「最高のピアニストの一人」と評されたアルバート・ロトは、ソリスト、オーケストラ・ソリスト、室内楽奏者として国際的に活躍している。モントリオール国際ピアノコンクール第1位、ブゾニ国際ピアノコンクール金賞受賞後、4大陸で頻繁に演奏旅行を行っている。アルバート・ロトは、アメリカ国務省の代表としてジュリアード音楽院から選出され、日本、台湾、中国、パナマ、グアテマラ、エルサルバドル、ペルーを訪問。同時に、中米のホンジュラスでは平和部隊の代表芸術家・教師として活動。

ロト氏は日本でも頻繁に演奏活動を行っている。全国各地でのソロリサイタルのほか、日本放送協会（NHK）、日本コロムビアレコード、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団など、日本の主要オーケストラとの共演も多い。日本を代表する作曲家、中田喜直、松村禎三の代表作をピアノソロ、室内楽で演奏した。

ニューヨークを拠点に、ニューヨー

ク、ボストン、フィラデルフィア、モントリオールなどの主要ホールで度々演奏を行う。また、ニューヨークのグリニチ・ビレッジにある天理文化会館で開催されているコンサート・シリーズの芸術監督を務めている。このコンサートシリーズは、アジアの若手アーティストだけでなく、世界各国の若手アーティストのキャリアを推進するものである。ジュリアード音楽院で学び、在学中サッシャ・ゴロドニツキ氏の元で博士号を取得。

Mayumi Izumi

和泉 眞弓

国立音楽大学卒業後、同大学院修了。

属澄江、マックス・エッカーの各氏にピアノを、森安耀子、ロバート・ヒラー、ハルトムート・ヘルの各氏に室内楽伴奏法を師事。1980年、ドイツにてリート（ドイツ歌曲）伴奏を務め、新聞フランクフルト・アルゲマイネ紙上で「素晴らしい指とテクニック、完成した質を持ち合わせたピアニストである。非常に感受性豊かな響きを奏でるタッチが突出していた。（1980年9月15日）」、「音楽芸術」誌上で「説得力のある表現で音楽に躍動感があり楽しめる演奏をする、弾力性に富むピアニストである。（藤田晴子）」との講評を得る。1975年より東京、大阪、京都、パリ、ボストン他にてピアノソロ、デュオリサイタル、室内楽などの演奏活動を行っている。

また、日本現代音楽協会、日本作曲家協議会主催演奏会、京都国際音楽祭等で現代音楽作品を演奏する。2000年11月、パリ・サルコルター、2001年4月、パリ・ユネスコ・サルアンにて和泉耕二氏の作品を演奏。東日本大震災以降、被災地支援のためチャリティーコンサートを企画・開催し、被災地に義援金や楽器を贈る活動を行う（2011年～2017年）。

2018年から中村和枝主宰の現代音楽演奏集団「ピアノのアトリエ」に参加。諏訪音楽院、元昭和音楽大学ピアノ講師、全日本ピアノ指導者協会正会員。



ご案内

“音楽の旧約聖書”とも言われ、300年間にわたり世界中の人々に愛され、尊ばれてきた『平均律クラヴィア曲集』の第3回目となるコンサートを開催いたします。今回は第1巻24曲を、24名のピアニストが彩り豊かに弾きつなぎます。

日時 2026年3月30日(月)
開演18:00 (開場17:30)

会場 国分寺市立いずみホール